

●散策は涼しい場所を選んで無理をせずに。

長い梅雨が明け、真夏がやってきました。木陰や水辺など、涼しい場所を選んで公園を利用してください。

●中世の名残をとどめる公方様の森

●周囲を沼に囲まれた①「公方様の森」は、イヌシデやコナラなどの木々が茂り、夏は涼しく昆虫もたくさん。かつてこの地には、古河公方やその子孫の御座所、別荘として使われた「古河公方館（鴻巣御所）」があり、②「古河公方館跡」として県指定文化財となっています。

余裕があれば③「徳源院跡」にも足を運んでみてください。5代古河公方足利義氏の息女・氏姫の法号から徳源院と称した寺の跡で、義氏の遺骸の一部が葬られたと考えられており「古河公方足利義氏墓所」として県指定史跡となっています。



【野草紹介】ヤブランは日陰でも良く育ち、徳源院跡他、各所で見られます。



●調べてみると面白い公方様の森 ~今も残る遺構~



●館のあった当時の御所沼は、復元された現在よりも大きく、水堀りとして外敵や動物の進入を防ぐ役割を果たしていました。公方様の森と民家園・茶畑のエリアはそれぞれ曲輪と言って区画が分けられていました。その様子が分かる遺構が空堀と土塁です。空堀とは文字通り空の堀のこと、土塁とは盛土をした土手のことです。城郭の周囲は複数の曲輪で形成され、曲輪の入口は虎口という狭い出入口があり、これらによって外敵からの進入に備える作りとなっています。管理棟側から空堀の園路を登って森へ入ると、園路としては丁字路となりますが、空堀の名残はそのまま南側の御所沼へと続きます。遺構を見つつ当時に思いを馳せながら散策すると、普段とはまた違った公方様の森の姿が見えてきますよ。



この通路はスズメバチがいるのでご注意ください！



【野草紹介】秋の七草の一つ「オミナエシ」が咲いています。

●先人の知恵は偉大です (旧中山家)

●森の木陰も涼しいですが、④「旧中山家」も涼めるスポットの一つです。建物に一步入ると涼しく感じます。1674年に建てられたこの古民家は、白壁で日光を反射し、茅葺き屋根と土壁で温度と湿度を調節するととても理にかなった作りをしています。自然と共存する昔の人の暮らしが見て取れますね。



●趣のある仙人池

●展望デッキ近くの⑥「仙人池」は、小さな滝が落ち、周囲に松などが植えられ趣のある作りになっています。

滝の水は御所沼の循環水なので、池の中にはいろんな生き物もみられます。



●こんな植物もあります「ローズマリー」

●公園駐車場側の中央園路にはメリナ・メルクーリ国際賞受賞碑の隣に植えられている⑥ローズマリー。ハーブとしてお馴染みですが、この時期に綺麗な花を咲かせます。



●夏の公園は日陰を選んでゆったりのお散歩。古河の歴史に思いを巡らせるのもいいですね。